

お茶会だより 10月号

矢島保育園 R5.11.7(火)

総合案内所でのお稽古も今月で最後となりました。

暑い夏の7月からスタートし、季節はすっかり秋へと移り変わっています。保育園から案内所までの道のり、お稽古の時と同じく、背すじ、指先を伸ばし歩いていく子ども達でした。

今月の掛け軸は、「かきのみ だいすき からすか ー」。

すべてがひらがなのため、子ども達も読めるということを読んでみました。普段元気な子ども達ですが、場所の雰囲気を感じながらその場に合った声で読んでいました。

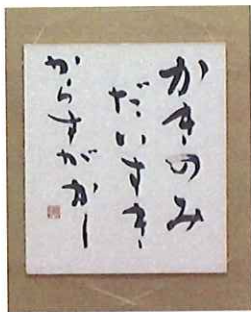
和室でのお稽古にも慣れ、敷居を踏まずに自然に歩けるようになっていきます。毎月のお稽古の中で少しずつ作法が身についてきているのは感じますがまだ自信がなく、「こうなの？」と聞いたり、周りの様子と同じようにする姿が見られます。次の流れを考え、行っていくようにくり返しの練習の中で元気をほめていきながら自信につなげていきたいと思っています。

※ お茶会は毎月、9:00 開始です。お茶会にのぞむ心構えの時間や準備もありますので 8:30 までには 登園 させてくださるようお願いいたします。

【今月の床の間】



《掛け軸》「かきのみ だいすき からすが かー」



「鳥海山も白くなり、寒くなってきましたね。秋も深まり、柿の実も色づいていました。」と植田先生からお話があり、子ども達も晩秋の雰囲気を感じていました。



《香合》「柿の実」



《茶花》「ホトトギス サクラタデ
ハマギク フジバカマ」

【お茶会の様子】

総合案内所で行う最後のお稽古となりました。集中してお稽古に臨んでいる姿が見られ、植田先生からは「この場所でのお稽古を思い出しながら頑張りましょう」とお言葉をいただき、子ども達の背筋がピンッと伸びていました。半年が過ぎ運動会を経験して、場面に合った落ち着きも見られるようになってきました。また、普段の生活の中でも自ら背筋を伸ばしたり、お箸の持ち方を直したりと気付けるようになっていきますので、引き続き自身をもって取り組んでいけるようにしたいです。



お箸は持つ手、添える手



今回も新田実生子さんが一緒にお稽古に参加してくださいました。「背筋や指がしっかり伸びていて、お箸の使い方も上手になってきましたね。静かな時に静かに行儀よく出来ることは素晴らしいですよ。」とお褒めの言葉をいただきました。